

よどまち ナーち

yodo-machi
search

新高 地域

地域と企業・NPO・専門学校・福祉施設等との連携による多様な取り組みをまちづくりセンターが紹介するシリーズ。
第1回目は、新高地域です。



① 障がい者福祉サービス事業所「にいたかの里」

施設運営の基本方針の一つに「地域との交流」をあげる「にいたかの里」では、利用者の方々の自立に向けた取り組みを地域と連携しながら進めています。パンの製造と「赤ほっぺ」というお店での販売や、地域にある会館、地域イベント時の清掃を受託しています。そして、地域と利用者の方々が楽しくふれあう交



ワークプラットフォーム
(※外壁を上下移動する足場)搭乗体験



② 地域と企業の協力でイベント開催!

8月5日、新高4丁目パークスクエア北大阪の大規模修繕工事現場で開催された「職業体験によるマナーアップイベント」。同マンションの管理組合、振興町会、老人会、子ども会で構成されるマナーアップ実行委員会と施工会社のケアンドイー(株)が協力し、企画・実施されました。

子ども達は朝礼・現場見学・タイル貼り付けなど6つの体験を通じて、工事現場での安全第一、ルール厳守の大切さを学び、貴重な経験の場となりました。また、工事中の安全確保や危険な場所を住人の方々に知ってもらう機会となり、住人と工事関係者がお互いの立場を理解し合う交流の場にもなりました。

マナーアップと工事現場を結び付けたこの取り組みに、地域と企業の新しい連携の可能性を感じました。



利用者の皆さんが作る「赤ほっぺ」のパン。地域で大人気!

流の場として「にいたかフェスタ」を毎年、主催しています。

このお祭には、地域の方々や淀川区内の専門学校生がボランティアで参加するなど、障がい者福祉について理解を深める「地域ボランティア活動の育成支援」の場にもなっています。こうした様々な取り組みを進める「にいたかの里」は、地域交流の拠点としてそのつながりの輪を広げています。



ペンキ塗り体験

モルタル団子作り体験

淀川区まちづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!

やまちゃんの「ごころ」

淀川区長 山本 正広



子どもの「文化」は素晴らしい!

11月3日(金)、文化の日。淀川区では「第36回こども文化のまつり」が区民センターで開催されました。

芸能コーナーでは区民ホールのステージで13地域、345人の子ども達が参加。演目もコーラス、太鼓、ダンス(民謡)、演劇、器楽演奏など多種多様でした。

区民センターの会議室では、書道(毛筆、硬筆)、絵画、工作など2,000点を超える作品が展示されていました。

また、隣接する野中南公園では50m走やフラフープ、竹馬、一輪車などが楽しめるコーナーが設置され、淀川区老人クラブの皆さんのご協力で、子ども達がグラウンドゴルフを経験できるコーナーもあり、みんないぎいぎと遊んでいました。

演芸コーナーも、どのグループもレベルが高くてびっくり。

相当練習を積んでいるんだろうなあと感じました。

別件があって最後まで見学することができなかったのが、とても残念でした。

それにしても、淀川区の子ども(よどっ子)は、めっちゃ元気で、才能もあって、ほんまに素晴らしい!

▶ステージで練習の成果を披露するよどっ子達

